

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 4 年 3 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 4 年 3 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 4 年 3 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【まん延防止等重点措置が解除されたものの、多くの業種で原材料・原油価格高騰等による仕入価格上昇の影響を受け、全体の業況はやや悪化した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-39.2（前月-37.8、前年同月-31.4）で、前月比 1.4pt 悪化した。まん延防止等重点措置が解除され人流の増加が期待されるが、原材料・原油価格高騰による仕入価格の上昇や、ウクライナ情勢等の今後の影響が懸念される。

【製造業】

業況は-31.4（前月-24.5、前年同月-30.4）と前月に比べ 6.9pt 悪化した。原材料価格の高騰や半導体不足に加え、ウクライナ情勢の影響を受け、業況の悪化が続いている。

【建設業】

業況は-44.1（前月-50.0、前年同月-20.5）と前月に比べ 5.9pt 好転した。資材価格の高騰や住宅設備機器の納品遅れが続いており、工期スケジュール延長等が生じている。一方で、大手住宅メーカー等からの受注は比較的安定している。

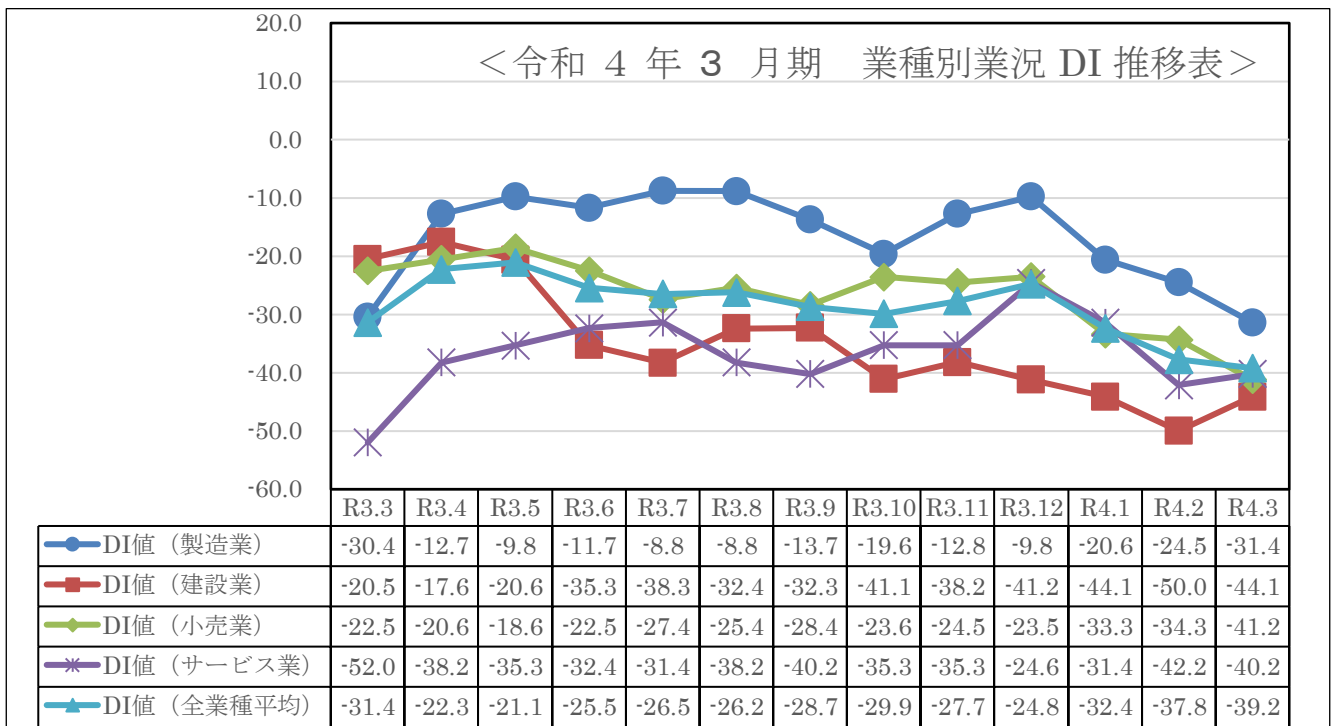
【小売業】

業況は-41.2（前月-34.3、前年同月-22.5）と前月に比べ 6.9pt 悪化した。食料品等の仕入価格の上昇により、販売価格へ転嫁せざるを得ない状況であるが、一部では価格転嫁ができず、採算性が悪化している事業者もある。

【サービス業】

業況は-40.2（前月-42.2、前年同月-52.0）と前月に比べ 2.0pt 好転した。旅館業と理美容業はまん延防止重点措置の解除により回復傾向にあるが、洗濯業では原油価格高騰の影響を受け、厳しい業況が続いている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・原材料費の高騰・半導体不足に加え、ウクライナ情勢の今後の影響が懸念される。（伊豆）
- ・食料品に関する材料は値上げが続き、価格に転嫁せざるを得ない状況である。（富士駿東）
- ・ウクライナ情勢の影響で燃料費や貴金属が値上げになり、大きな影響を受けている。（中部）
- ・機械金属業は、原材料・原油価格高騰の影響により、原価率を押し上げ利益を圧迫、業況悪化傾向が続いている。（中東遠）
- ・輸送機器関係の製造業では、半導体や部品不足によるメーカーの工場停止により、受注が減少している。（西遠）

【建設業】

- ・資材高騰の影響が大きく、また納期遅れも発生している。（伊豆）
- ・材料費の値上げ、不足の影響が出ている。外材は特に入手困難である。（富士駿東）
- ・水回り資材の納期遅れ等で、工期スケジュールに支障をきたしている。（中部）
- ・ハウスメーカーの上棟は計画的にある。人工代（外注費）に変更はない。（中東遠）
- ・大工工事は大手住宅メーカーの下請けが中心である。原材料高と受注の見通しが不透明なため、今後に不安を感じている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

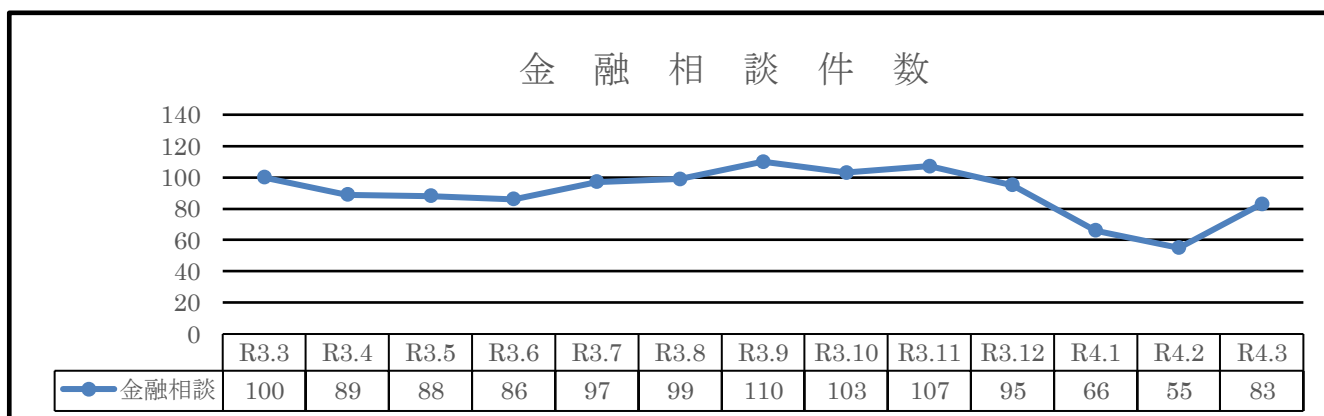
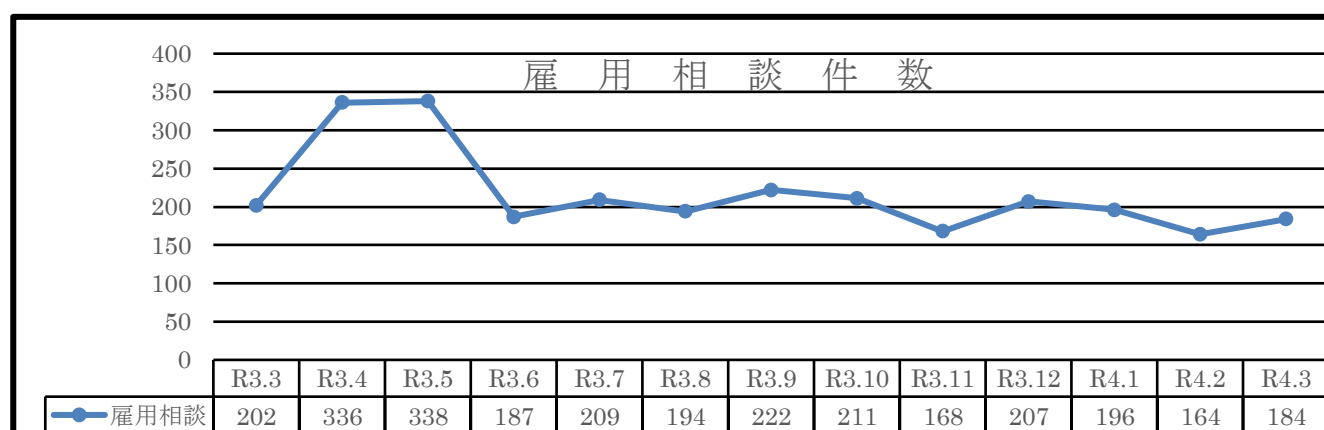
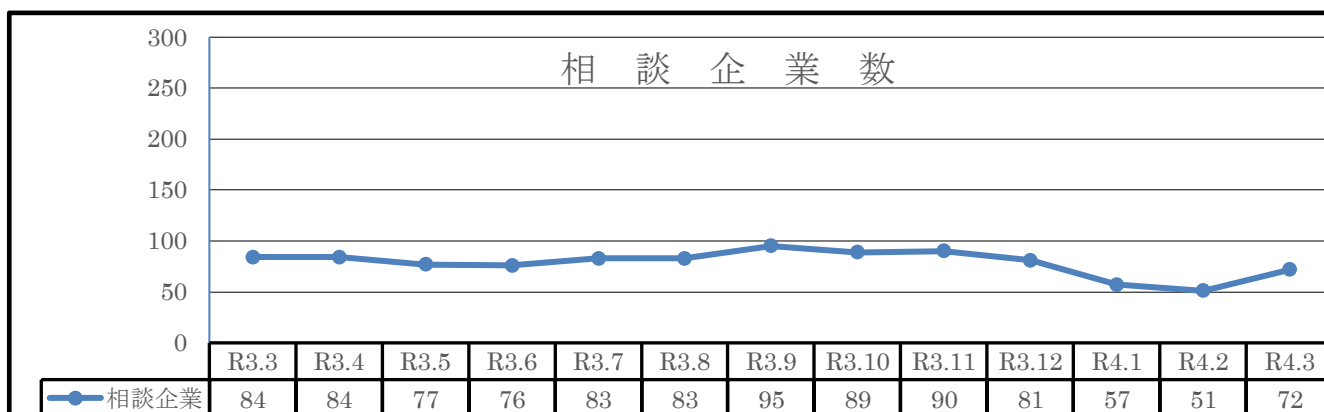
- ・まん延防止の影響を受け消費が冷え込んでいたが、解除後は動きが戻りつつある。（伊豆）
- ・ロシアのウクライナ侵攻、円安の進行により、燃料や食材等の価格上昇の影響が厳しくなっている。（富士駿東）
- ・食料品の卸値が上昇しているため、小売価格も上げている。（中部）
- ・衣料品は衣替えの季節であるが、買い控え傾向が続き業績改善は見られない。（中東遠）
- ・家電小売では、半導体不足により製品の確保が難しい状況である。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業は顧客年齢層が上がっている。また、まん延防止が解除され、桜の時期も重なり人の流れが増加している。（伊豆）
- ・まん延防止が解除されたが、旅館の予約等は厳しい状況である。（富士駿東）
- ・理美容業は卒業式等のイベントが行われ、通常期よりも動きがあった。（中部）
- ・洗濯業は需要が減少に加え、原油価格高騰の影響が続き、厳しい経営状況である。（中東遠）
- ・旅館業は休日の予約は埋まっているが、平日は空いている。まん延防止が解除され、「今こそしずおか 元気旅」に期待したい。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和4年3月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	72	51	21
【金融相談件数】	83	55	28
新規融資（借換えを除く）	46	37	9
既存債務の借換え	36	16	20
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	1	2	-1
【雇用相談件数】	184	164	20



【金融相談】

金融相談件数は、83件と前月(55件)に比べ28件増加した。借換え等の既往債務に関する相談が大幅に増加した。

<経営指導員コメント>

- ・前期に引き続き、据置期間の延長に関する相談が多い。(伊豆)
- ・相談があった事業者の業種は製造・建設業であり、他の業種に比べて遅れて影響が出ている印象である。(富士駿東)
- ・新型コロナ関連融資の返済が近いうちに始まる事業者がおり、キャッシュフローに関する相談が増加している。(中部)
- ・諸経費支払資金など、当面の運転資金を確保することで資金繰り改善を図った。(中東遠)
- ・建設業で資材などの価格が上がり、また売掛金の入金が遅れ資金繰りが厳しいため、運転資金を借入したいと相談があった。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、184件と前月(164件)に比べ20件増加した。先月に引き続き、雇用調整助成金に関する相談が増加した。

<経営指導員コメント>

- ・年度末のため、就職・退職に関する相談が多い。(伊豆)
- ・雇用調整助成金の上限が段階的に引き下げられる関係で、これまで従業員の解雇を行わず凌いできた事業者で、人員の整理が行われる可能性がある。(富士駿東)
- ・通常の雇用保険手続きが主な相談内容となっている。(中部)
- ・緊急雇用安定助成金、就業規則の見直し(有給休暇等)、定年引上げ、キャリアアップ助成金に関する相談があった。(中東遠)
- ・社会保険労務士による就業規則や雇用契約書の作成支援等を実施した。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・3/27(日)に「河津寄って軽トラ市」を開催した。コロナ禍につき出店数を制限した開催となり、来場者は750名程であった。(河津町)
- ・3/20(日)に「堂ヶ島トンボロ開き」が開催され、過去最高の人の参加があった。(西伊豆町)
- ・4/29(祝・金)～9/25(日)に「トーマスフェア」が開催される。(川根本町)
- ・5/21(土)～5/22(日)に感染防止対策を遵守し、マリンパーク御前崎にて商工会事業である「御前崎シーサイドピクニック」を3年ぶりに開催する。※感染防止対策を遵守(御前崎市)
- ・観光協会が行った観光事業「牡蠣小屋」は、着地型観光の試みとして実施したが、コロナ禍のイベントであるため大幅に受け入れ人数を抑えて開催した。テレビや新聞等のマスコミ取材で、ある程度の賑わいを見せリピーターも来場いただいたが、例年の半分程度の来客数となった。(新居町)